

< 討議内容 >

日 時: 令和 2 年 1 月 17 日(金)

場 所: 白山台放課後等デイサービスみゆ～みゆ～指導訓練室にて

出席者: 放課後等デイサービス部 全スタッフ

内 容

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 職員による評価 | 令和 1 年 11 月 11 日～令和 1 年 11 月 30 日 |
| 保護者による評価 | 令和 1 年 11 月 11 日～令和 1 年 12 月 15 日 |
| 事業所全体による評価 | 令和 2 年 1 月 17 日～令和 2 年 1 月 17 日 |

評価期間を設け、みゆ～みゆ～スタッフで討議を行う。

・詳細内容に関しては、別紙自己評価表を基に討議する。

当所としては『満足度』の項目 17「子どもは通所を楽しみにしているか」、18「事業所の支援に満足しているか」で 19 人から「はい」という評価を頂いた。当所の強みとしてはスノーズレン、ホール(運動できるスペース)、パーソナルスペースが広い環境であること。本来の放課後等デイサービスとは設備や環境に頼らずに、どういった支援をするか、特性を理解して対応しているかである。子どもに関することは勿論だが、働きやすい環境を整えるためにも、スタッフの心理的安心感を図っていきたいと考えている。それが必然と、子ども達の支援にも繋がる。心の余裕がなければ、人には優しくなれないし、いい支援にもならない。

今後は、さらに質を求められるようになると思う。サービス提供者としての謙虚な対応を心掛けること。

・アンケートでは、環境・体制整備2「職員の配置数や専門性は適切であるか」に関して「どちらともいえない」が 5 名。

⇒これに関しては、当所に関わる職員の写真と役職(取得資格)のお知らせを年度初めに保護者へ配布する。新しい職員が入るごとに紹介の、お知らせを配布する。

・適切な支援の提供6「放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか」に関して「どちらともいえない」が 13 名。

⇒児童クラブも放課後ということで、なかなか交流を図ることは難しい。健常児との交流ということでは、スポーツチャンバラや外出時に、自然と遊びながら関わっているところが見られた。今後、要所、要所で交流出来る機会を設けていきたいと考えている。

・保護者への説明等 10「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか」に関して「どちらともいえない」が 12 名。

⇒これに関しては、来年度は護者同士での情報の共有の場所を提供するなど茶話会を計画中である。前年度は、BBQが保護者間の交流の場でもあった。しかし、仕事をしているから利用をしているという方もいらっしゃるため、多数の参加は厳しい現状である。

特に主だった項目を見ると、職員の専門性(療育の質)、外部との関り、交流についての意見が多く感じた。これをもとに引き続き社会体験を多く積んで、臨機応変さも学んで欲しいと思う。今年度も『夢をかなえるプロジェクト』として職業体験、併せて新年度は『感謝される行動・困っている人を助けよう』というコンセプトでの取り組みをしていきたいと考えている。

プラス面 強み(Strength)

- ・スヌーズレンルーム
- ・ホール(体を動かす場所)
- ・パーソナルスペースの広さ
- ・多種多様の事業での体験実習が可能(就労プログラム)
- ・ベテランスタッフ(経験者)、未経験者でも人柄が良く、仕事、支援に対する意識が非常に高い人材がそろっている。
- ・日々、子どもは変化し、支援の方法にも動きがあることを理解し、経験値だけを押し付けるのではなく職員も日々学ぼうとする姿勢がある。

マイナス面 弱み(Weakness)

- ・大事な時期である児童期は、支援、指導が非常に重要とされる。ここでの療育が将来に影響する可能性も少なくない。職員の入れ替わりが激しいことで影響も出る。保護者からもこの点については、問い合わせがあったため重要課題として、今後検討すべきである。
- ・障がい福祉サービスに携わっていると陥りやすいのだが、子ども対象であるため指導、教育的面が強くなる。必要なことであるが、これが強くなってしまうと怖い部分でもある。指導する一方で、あくまでもサービス提供者として、一般のサービス業と同じ感覚で、常に低姿勢、謙虚さを忘れないようにしていきたい。
- ・非常にいい案、企画を持っているスタッフが多い、伺いは必要だが、もっともっとトップダウンではなく、ボトムアップを目指したい。

来年度の目標(改善点)

- ・年度初め、スタッフの増員に伴い、保護者へお知らせを配布する。
- ・事業所外、事業所内での研修の充実化。臨機応変に機能するよう、全スタッフがわかるような仕事環境の設定。子どもの支援及び療育に関しては勿論だが、経理面、書類面における周知。
- ・保護者間の情報の共有を図るためにも、茶話会などを実施。
- ・社会資源をもっと活用しながらの取り組みを考える。